

手づくり市がありました

10月13日、波折神社とその周辺の古民家で、1日だけの手づくり市が開かれました。主催は、手づくり市実行委員会です。

布・陶・木などの雑貨や、お菓子・パン・お料理など、手づくりのものやおいしいものがたくさん並びました。津屋崎千軒の街並みを歩きながら、手づくりの逸品を見て、触って、体験して、買って、味わっていました。



鰹節のだしが効いた「かつお味噌の焼きおにぎり」。だしのうまみが凝縮されていました。



木を削って、アクセサリー作り体験ができました。



旨いコーヒーや手づくり小物が並びました。

音楽散歩がありました

10月14日、津屋崎千軒一帯で「音楽散歩」が開催されました。

藍の家や豊村酒造、波折神社などをステージに、ジャズやゴスペル、フォルクローレなどさまざまなジャンルの音楽が演奏され、街のあちこちに音楽があふれていました。

さまざまな音楽を一度に楽しめる貴重な時間。訪れた人たちは、思い思いにお気に入りの音楽を楽しんでいました。



ジャズの演奏に乗って踊る華麗なタップダンス



豊村酒造の酒蔵に響き渡るゴスペルの力強い歌声に、訪れた人たちは魅了されていました



弦楽器トンコリで奏でるアイヌ音楽



このような灯笼ができていた。宿場の雰囲気が出ています。少しずつ、しかし確実に唐津街道睦町宿の景観がよくなっています。



伊能忠敬が測量した方法と同じやり方で睦町宿の測量を体験する子どもたち

伊能忠敬睦町宿測量



睦町宿に馬車が、ゆっくり走りました。「パッカパッカ」と蹄の音が響いていました。

200年祭がありました



JRウオークに合わせて開催。たくさんの方が訪れました。



地元の野菜を集めたバンコ市も賑わっていました。



博多人形や許斐窯の焼き物のバンコ市もあり、楽しい雰囲気。

睦町ならではのイベント
10月12日、唐津街道睦町宿で伊能忠敬睦町宿測量200年祭が開かれました。測量体験やバンコ市などのイベントが行われ、700人以上が睦町宿を訪れました。

1813年に伊能忠敬測量隊が睦町を測量してから200年を記念して開催された祭では、地元の上西郷小の児童らが「こども測量隊」となり、伊能のやり方にならって、歩数を測ったり、昔の測量の道具を使ったりして正確に測量。2時間以上掛けて地図を完成させていました。

この日は睦町の街道に馬車が走り、家族で乗って散策を楽しむ人も見られました。



準備した豚汁500食の振る舞いは、なんと午前中ではけてしまいました。

また宿場のあちらこちらで、地元で採れた野菜や果物の他、パンやアイスクリームなどが並び、地元で活動をしている博多人形師が作った人形やイス職人が丹念に製作した作品、アメリカアンティーク輸入雑貨などの商品もバンコ市で販売されました。

睦町公民館では小学生のスケッチや睦町の昔を撮影した写真が展示され、睦町の昔の様子を偲ぶことができました。

豚汁が振る舞われ、準備した500食は午前中ではけてしまいました。

このイベントは「唐津街道睦町宿の街並みを保存する会」が主催しました。